

令和5年度 学校評価について

山形大学附属特別支援学校

1 学校評価全体 (保護者・教員評価)

評価項目			学部	4	3	2	1	R05
				大変良い	良い	不十分	かなり不十分	評価 平均値
めざす子ども像	1	お子さんは、自分から学習や活動に取り組もうとしている。	小	7%	64%	29%	0%	2.8
			中	50%	42%	8%	0%	3.4
			高	40%	50%	10%	0%	3.3
			教員	27%	62%	12%	0%	3.2
	2	お子さんは、友達や先生方とのかかわりを楽しみに活動している。	小	57%	43%	0%	0%	3.6
			中	50%	50%	0%	0%	3.5
			高	60%	40%	0%	0%	3.6
	3	お子さんは、いろいろな人とかかわりながら役割(ルーティーンや係活動など)や日常生活のお手伝いに取り組もうとしている。	小	57%	36%	7%	0%	3.5
			中	33%	58%	8%	0%	3.3
高			46%	31%	23%	0%	3.2	
めざす教師像	4	教員は、適切な接し方や言葉掛けを行っている。	小	86%	14%	0%	0%	3.9
			中	67%	33%	0%	0%	3.7
			高	50%	35%	15%	0%	3.4
			教員	8%	81%	12%	0%	3.0
	5	教員は、お子さん一人一人に応じた指導・支援を行っている。	小	79%	21%	0%	0%	3.8
			中	67%	25%	8%	0%	3.6
			高	60%	25%	15%	0%	3.5
	6	教員は、お子さんにとって学びたいと思う学級づくりに取り組んでいる。	小	86%	14%	0%	0%	3.9
			中	75%	25%	0%	0%	3.8
			高	50%	45%	5%	0%	3.5
	7	教員は、お子さんの生活習慣や健康管理についての相談に丁寧に対応している。	小	67%	27%	7%	0%	3.6
			中	75%	25%	0%	0%	3.8
高			55%	40%	5%	0%	3.5	
8	教員は、学習状況についての情報提供を十分に行っている。	小	86%	14%	0%	0%	3.9	
		中	67%	25%	8%	0%	3.6	
		高	55%	45%	0%	0%	3.6	
9	教員は、卒業後の生活に向けての学習、情報提供を十分に行っている。	小	64%	36%	0%	0%	3.6	
		中	58%	25%	17%	0%	3.4	
		高	35%	45%	20%	0%	3.2	
めざす学校像	10	笑顔あふれる元気な学校になっている。	小	79%	21%	0%	0%	3.8
			中	58%	42%	0%	0%	3.6
			高	50%	50%	0%	0%	3.5
			教員	35%	63%	0%	0%	3.3
	11	明るく安全な学校になっている。	小	86%	14%	0%	0%	3.9
			中	75%	25%	0%	0%	3.8
			高	55%	45%	0%	0%	3.6
	12	信頼できる教師集団である。	小	86%	14%	0%	0%	3.9
			中	75%	17%	8%	0%	3.7
			高	66%	31%	3%	0%	3.6
	本校の教育に満足していますか。		学部	満足	やや満足	やや不満	不満	R05
			小	93%	7%	0%	0%	3.9
中			58%	42%	0%	0%	3.6	
高			58%	38%	4%	0%	3.5	

2 各評価項目について

(1)「めざす子ども像」について

小学部、高等部での数値が昨年より低い値となりましたが、学校全体を見ますと学部が上がるにつれて「大変良い」という評価が増えている状況があります。今後とも自分から学習や活動に取り組む場を設定し、自分から学ぼうとする力を育てていくとともに日頃から丁寧に学校の様子を伝えていき、学校で身につけたことを家庭でも汎化できるようにしていきます。

(2)「めざす教師像」について

保護者の皆様からは一定の評価をいただいております。

一人一人を大切にし、生活年齢を意識したかわり、肯定的な言葉がけやかかわりを行うことへの意識改革に努めること、生活習慣や健康管理について日頃より送迎時や連絡帳などを通して丁寧に保護者と情報共有を進め、家庭との連携を密にしていくことなどを確認しました。

また、高等部で卒業後の生活を見据えた進路指導、中学部においても施設見学への取り組みを進めてきました。学校全体でキャリア・パスポートの活用に取り組むなど小学部においてもキャリア目標を設定し、それぞれの発達段階に応じた進路指導やキャリア教育に取り組んできました。一方で実習先や進路先の決定や学校としての進路方針や流れの整理、一人一人の思いや願いに沿った進路相談などの課題も出されました。キャリア教育の視点も踏まえながら、自ら各学部の卒業後の生活を考える機会を設け、学習を進めていくとともに新しい情報の収集などニーズに応じた指導体制を構築していきます。

(3)「めざす学校像」について

おおむねすべての項目で昨年度同様、もしくはそれよりも高い評価をいただきました。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類への移行を受け、徐々に学習活動をコロナ禍以前に戻してきました。授業参観やPTA活動なども実施し、昨年度よりも本校教育についてご理解いただく場が増えました。

学校評議員の方々からも山形大学と連携した学習、小学部段階における卒業後を見据えた進路指導計画の作成、山形県はもちろん、全国にその成果を発信できた学校研究の取り組み、将来の就労や進路につながる高等部クリーングループの立ち上げ、医療的ケアの実施等について評価をいただき、さらなる充実・発展に向けご意見をいただきました。

一方で「少人数の良さはあるが活動が限定的」「子どもたちの個性の幅を認めた対応」「登下校時の駐車場の安全面への対応」「早めの行事や日程変更の連絡」等よりきめ細かい教育や支援についてのご意見もいただいております。状況を把握し、より良い方向へ改善していきながら今後も「笑顔あふれる元気な学校」「明るく安全な学校」「信頼できる教師集団」をめざし、より充実した教育を提供できるように努力していきます。